

# 松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆さまへのメッセージです—

2020年4月8日 発行

松蔭中学校・高等学校  
校長 浅井宣光

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。(イザヤ書 43:19 今年度年間聖句)

## 2020年度の始まりに

先週末、校内の桜が満開を迎えました。ある職員が、「今年ほど心が躍らない春は初めてだ」と語っていましたが、感染症拡大により余談を許さない状況が続きます。3月初めから1ヶ月間の休校期間を経て、4月1日より、制限の下で学校活動を認めることになりました。あらためて学校が、生徒の姿があってこそその場所であると感じています。すれちがう生徒に「気をつけて」と声をかけ、「大丈夫です」の返事のひと言をもらいます。目の前の桜がいつもの浮き立つ春色へと、さっと変わるように感じるから不思議なものです。

昨日、中学校、高等学校の入学式を簡略化して挙行了ました。本日の始業式も登校日とし、廊下に張り出される新クラス名簿の発表、各教室での放送礼拝と講話、課題連絡のみで終わりました。新年度への期待と不安を入り混じらせ、緊張気味の生徒の表情は、マスクの下に隠れています。新クラス発表の掲示を見た生徒たちは、しばらくの間こそ歓声を上げていましたが、新しい教室に入ると、静かに席に着きました。新入生は、ただでさえ新しいクラスに戸惑うものですが、放送礼拝もある今回はなおさらです。ならば、皆で新入生歓迎の気持ちを示そうではないかと、換気のため開け放たれた教室の窓と扉を通して、各教室から拍手を送りました。「ふつ々の学校生活」を一日も早く取り戻すことができるよう願っています。



<4月4日撮影>

始業式の講話は「自分と家族の健康を守るために、新型コロナウイルス感染症を理解する」をテーマにしました。各国の感染状況、世界の学校の休校の様子、パンデミックとなった100年前のスペイン風邪当時の女子高生のマスク姿の写真などにも触れながら、ウイルスや感染症の症状などについて説明しました。予防の徹底、教職員も生徒も感染者となる可能性があることなどについても話しました。左のスライド画面は、配布したプリントの一部です。自らの予防を考えるだけでなく、亡

くなった人々のために祈り、その家族の思いに寄り添うこと、世界中の医療従事者を応援する気持ちを持つこと、感染した人や症状がある人に対して配慮し、心のケアができる人になることを呼びかけました。

### 皆さんに特にお願いしたいこと!!

- ・体調不良のときには安静にして外出しない。
- ・他人にうつさないよう配慮する。
- ・時間を有効に活用し、スマホ依存にならない。
- ・家族を大切にすること。
- ・発症した人、症状がある人に対して、心のケアができる人になる。
- ・世界中で亡くなった人々の御霊(みたま)の平安と、その家族の悲しみがいやされるように祈る。
- ・世界中の医療従事者(医師、看護師など)の健康を祈り、応援する気持ちをもつ。



## 授業開始の延期と学校行事などの判断について

4月19日までを臨時休校とする判断をしていましたが、政府の緊急事態宣言が発せられたことに伴い、5月6日まで休校期間を延長します。自宅学習の取り組み、今後の登校日などについては、メルポコおよびホームページにより連絡します。ホームページには学年別のバナーを設け、家庭学習その他の連絡を閲覧できるようにしています。また、この「校長室だより」も閲覧できます。パスワードは、登校日にご息女にお伝えしているほか、メルポコでも配信します。今後は、できるだけ頻繁に確認するようにしてください。Classiを導入している学年については、今年度の準備ができたい運用を開始する予定です。

来月の授業開始など学校活動の再開については、兵庫県、大阪府の感染拡大の状況、文科省および県の通達内容に基づき、学校医と協議のうえで慎重に判断します。また、行事やプログラムの実施については、国、県の通達にあるとおり、「3つの密(密閉、密集、密接)」を回避することを条件に判断することにしていきます。したがって、生徒の学年集会、PTA集会など大勢の集会については、「密集」となることから当面の期間、行いません。現在、夏休みまでの学校行事や学年行事、PTA行事などについて見直しをはかっており、年間行事予定を全面的に変更する方向で調整しています。教育活動へのマイナスを、出来る限り抑える方向で進めたいと考えています。現時点で決定している行事や講座等の変更等については、下記のとおりです。ご理解ならびにご協力いただきますようお願い致します。

○生徒行事や学年の宿泊行事

文化祭は、4月下旬の開催を予定していましたが、3月の休校措置により、これを中止しました。その後、GW明けの5月9日に、生徒行事としての開催を検討していましたが、再び休校となりましたので、中止します。例年ですと十分なりハールを経たうえで開催しますが、これが実施できないこと、舞台演技では多人数が講堂に集まることなどから、「密集」を回避するべきとの判断をいたしました。生徒会や文化部では、「FANTASIA」を文化祭テーマとして準備をしてきました。生徒諸君には申し訳なく、とても口惜しくて残念な気持ちだけが残ります。なお、中間考査修了後、感染症が収束傾向にあり、安全と判断される場合に限り、各クラブごとの「活動発表会」を企画することについては、認める方向で検討したいと考えています。

毎年6月第1週に実施している全校団体鑑賞は松蔭の伝統行事の1つです。音楽、舞踊、演劇の各分野の一流の芸術に触れる機会を、3年のローテーションで組んでいます。今年は中止します。

中学2年生の海洋キャンプは、徳島県阿南市にあるYMCA阿南海洋センターで、カヤックなど海洋スポーツを体験しながら、集団生活を送るキャンプです。往復で乗車する高速道路利用のバスが「密閉」となり、宿舍もクラスごとの大部屋が中心で、「密集」となることなどから、これを中止します。また、中学2年生の希望者による夏休みのブリティッシュ・ヒルズ英語研修も、往復が長時間の新幹線利用となるため、中止します。中学1年生の夏休みの山のキャンプ(ハチ高原)については、5月末までに判断する予定です。

○放課後の英検対策講座など課外講座

第I期英検対策講座は、すでに申し込みが終了していましたが、休校期間中の開講であったこと、5月の講座が中間考査前などで確保が困難であるため、中止することになりました。高校2年生、3年生の校内予備校と中学アドバンス塾は、授業開始に合わせて開講する予定です。

(裏面に続く)

## ○海外語学・異文化研修

国際交流プログラムについては、春休みから新学期にかけてのセントピーターズスクール春季交換留学、Blue Earth Project のモノコ派遣プログラムを中止しました。6月の韓国聖明女子中学校訪問団の来校も、派遣を中止する旨、連絡を受けています。夏休みには、ニュージーランド夏期短期語学留学と韓国信明高校・聖明女子中学校訪問がありますが、現時点で中止を決定しています。両国でも感染の拡大傾向が続いており、収束時期の見通しが立ちにくいこと、現代、相互に入国制限措置を取っていることが理由です。これらの海外交流プログラムを心待ちにしている、という多くの生徒の声を耳にしていただけに、とても残念です。

## ○授業開始日以降のクラブ活動

休校期間中の活動はできません。授業開始後については、状況を見てその都度判断します。他校との練習試合や合同練習、教科練習についても同様です。学外の大会やコンクールなどについては、中体連、高体連その他の運営団体の判断にもとづき、参加の可否を判断します。

## ○PTA 関係

本日の HR で、今年度 PTA 会長・副会長の信任投票用紙を配付しました。提出については別に連絡します。5月以降の PTA 活動（特別委員会など）の活動については、新執行部の方々と協議して決定します。

## ○1学期末と2学期の始業時期について

授業時間を確保し、学習内容の未習得となる箇所が生じることがないようにします。夏休みを短縮して授業を実施する予定です。感染拡大の状況によっては、臨時休校の措置を延長したり、いったん授業開始の後、再び休校する可能性もあります。長期的な視点にたつて、学習へのマイナスの影響が出ることがないようにしたいと考えています。

## ホームページの「災害・緊急時情報入力フォーム」の運用 今回の感染症の情報なども

右のような「大災害対応マニュアル」を作成し、配布しました。小さく折りたたみ、生徒手帳のカバーにはさみ込んで常に携帯できるようになっています。登下校時など、単独で行動する際の大地震発生にそなえ、緊急時の連絡先や家族との緊急時の集合場所について、メモできるようにしました。また、災害発生時に危険を回避する行動や注意点、「N TT 災害伝言掲示板」の使い方や、学校への安否確認連絡のための QR コードも掲載しています。この QR コードは、学校へ送信できる「災害・緊急時情報入力フォーム」にリンクし、24時間中いつでも利用できるようになっています。



なお、この「災害・緊急時入力フォーム」は、今回の感染症についても、生徒や家族の情報を、24時間いつでも学校に知らせる際にも利用できます。ホームページのトップ画面の下欄にあるバナーからもリンクしています。入力欄の「現在、避難している場所」については、空欄のまま送信してください。大地震の対応マニュアルも、感染症情報の入力フォームも、後述の今年度学校運営方針の1つ、「安心して学び、安全に通学できる学校づくり」の一環です。

## 休校期間に、家庭科助手の先生などが中心となり、マスクを製作しています

3月の休校期間以来、時間を見つけては布製マスクを製作していただいています。今後、授業が始まる日に全校生徒に配布できるよう、1000枚の製作が目標です。布製マスクはウイルス予防に役立つという意見があります。しかし、マスクをする習慣がない海外の国々でもマスクを着用する人が増えており、海外メディアの中には一次的予防措置として有効との報道もあります。

## 各家庭でも WIFI 環境整備をお願いします

学校活動への感染症の影響が長期化することに備え、在宅学習を効果的にすすめる必要があります。高1と中1はタブレットの個人所有が始まります。また、ICT プラットフォーム Classi を学年ごとに順次、運用する準備をしているところです。つきましては、各家庭で、スマートフォン、タブレット、PC で利用できる WIFI 環境を整えていただくようお願い致します。

## 今年度の学校運営方針

2020年度の学校運営方針として、下記の4項目を全教員の会議で確認しました。今年度の役職者についてもお知らせします。1年間、どうぞよろしく願いいたします。なお、「校長室だより」は、今号より紙文書による配布をやめて、HP での掲載、デジタル配信のみとなります。

(今年度運営方針)

スクールモットー“Open Heart, Open Mind (心を開いて、思いを自由にして)”の精神をあらゆる教育機会に生かし、下記のような学校づくりをすすめる。

- 安心して学び、安全に通学できる学校。
- たがいを思いやり、いじめを認めない学校。
- ICT リテラシーと情報モラルを高める実践がある学校。
- 主体的に学ぶ生徒の姿がある学校。

### 2020年度 松蔭中学校 松蔭高等学校の役職者 (担当教科)

校長: 浅井宣光 (社会)      中学副校長: 番場靖子 (家庭)      高校副校長: 芳田克巳 (国語)

事務長: 平田健二      事務次長: 岡田知子

学年主任: 花岡隆人 (中1IDS 主任兼学年統括・理科)      篠原弘樹 (中1IGS 主任・英語)

長尾隆一 (中2・英語)      岳藤瑞枝 (中3・国語)

永井晃 (高1・英語)      岳藤史泰 (高2・保健体育)      吉川祐子 (高3・数学)

校務部長: 赤尾友規 (宗教部・社会)      大槻泰史 (教務部・理科)      中川雅博 (生徒部・数学)

若木浩幸 (総務部・社会)      佐々木聡 (進路指導部・国語)      小林裕典 (入試広報室・数学)